

## 新総合複合施設の整備の取り止めについて

### 1・公共施設アセットマネジメントに対する基本的な考え

- ・本市の公共施設は旧1市3町がそれぞれ整備し、その全てを新市が引き継いだため、類似施設の重複や将来的な余剰施設の発生が見込まれる。
- ・少子高齢化や人口減少の進行に伴う厳しい財政状況が予想される中、全ての公共施設を維持していくことは難しい。
- ・持続可能な行財政運営の実現と質の高い行政サービス及び安全・安心で魅力ある公共施設を次世代に引き継ぐためには、公共施設アセットマネジメントの推進は避けて通ることはできない。

### 2・新総合複合施設の整備を取り止めた理由

- ・建設地や事業費、現本庁舎の活用、新設に至った意思決定の経緯などについて、多くのご指摘をいただいたこと。
- ・「オール久喜」で「久喜市をもっと良くする」ための市政運営に尽力してきた中、新総合複合施設の整備が市民の皆様の混乱を招くことは本意ではないこと。

### 3・見直し内容

- ・新総合複合施設の新設は取り止める。
- ・庁舎機能の分散化や本庁舎の狭あい化の解消などの課題に、できるだけ早期に対応する。
- ・現本庁舎を引き続き使用することを基本に、理科大跡地の利活用を検討する際に、市民要望の高かった子育て支援及び子ども図書館などの機能と保健センターを集約<sup>\*</sup>した施設の整備について検討する。

※保健センターは、機能を集約するが、現在の4つの保健センターについては、当分の間、これまでと同様に保健事業を実施する施設として活用する。